



2019年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2019年2月12日

上場会社名 MRT株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6034 URL https://medrt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 稔正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西岡 哲也 TEL 03-6415-5295
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,727	52.8	164	68.0	275	251.8	188	416.1	180	375.4	181	—
2018年3月期第3四半期	1,130	33.7	97	△52.9	78	△60.8	36	△72.7	38	△71.5	12	△91.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2019年3月期第3四半期	円 銭 32.03	円 銭 31.75
2018年3月期第3四半期	7.25	6.66

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,282	1,650	1,636	71.7
2018年3月期	2,173	1,501	1,455	67.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	39.9	40	△38.4	150	275.0	90	260.0	85	325.0	15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）MRT NEO株式会社

MRT NEO株式会社は、2018年12月1日をもって医科歯科ドットコム株式会社に社名を変更しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	5,669,600株	2018年3月期	5,253,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	243株	2018年3月期	208株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	5,646,815株	2018年3月期3Q	5,249,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く医療・ヘルスケア業界においては、高齢化社会の進行とともに医師や看護師をはじめとする医療の担い手不足や地域偏在、そして診療科偏在が課題に挙げられ、医療従事者の需要はますます高まっております。現在、日本の医療費は、40兆円を超えており、2025年度には約60兆円を見込み、平均寿命の延伸、高齢者像の変化などの経済社会を踏まえて、医療費の削減に抜本的改革が求められております。

政府は、医療・介護分野における最先端技術の活用に取り組んでおり、遠隔診療においては、2018年度の診療報酬改定により、オンライン診療に係る管理料が加算され、遠隔診療の普及に向けた取り組みを進めております。また、政府の成長戦略として、オンライン診療の保険適用となる診療科の見直しや服薬指導を含めたオンラインでの実現を検討し、次期以降の診療報酬改定における有効性・安全性を踏まえた評価など、ユーザー目線での取組に重点を置いております。

このような状況のなか、当社グループは、関東、関西エリアを中心に引き続き営業基盤の強化及び医師や看護師のネットワークの拡大を図り、非常勤医師紹介件数の増加及び前連結会計年度に連結子会社化した株式会社医師のとも及び株式会社CBキャリアによる常勤紹介件数の増加が寄与し、売上収益は順調に推移しました。医療人材サービスの新たな取り組みとして、関西エリアで展開する医療従事者の派遣サービスを他のエリアに展開するための体制整備を進めております。

一方、開業支援、事業承継・M&Aの仲介サービスの強化、女医によるマーケティング、商品開発やメディア掲載など医師に向けたサービスの多様化を積極的に進めたことにより、医療人材サービス以外の売上収益は大きく伸長しております。

「遠隔診療ポケットドクター」については、医療機関への販売網の拡大や診療報酬の改定によりサービスの認知度は向上しておりますが、制度が導入されて間もないため、オンライン診療が有効に活用されるには当面時間を要するものであります。当第3四半期連結会計期間においては、オンラインによる診療等の普及・浸透に向けたサービス開発を推進しております。

今後の事業基盤の強化のため、東京、大阪及び福岡のオフィスを拡張並びに増員の結果、売上原価並びに販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は1,727,510千円（前年同四半期比52.8%増）、営業利益は164,191千円（同68.0%増）、税引前四半期利益は275,143千円（同251.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は180,864千円（同375.4%増）となりました。

また、売上収益の内訳は、医療人材サービス（医師、その他の医療従事者）1,614,329千円（同49.2%増）、その他113,180千円（同132.4%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、2,282,417千円となり、前連結会計年度末に対して108,761千円増加しました。これは、主に連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物が62,330千円減少、持分法適用関連会社の株式の一部を売却したことにより持分法で会計処理されている投資が102,677千円減少しましたが、株式売却対価の未回収により流動資産その他の金融資産が50,000千円増加、関連会社であった株式を公正価値に評価及び連結範囲変更に伴い連結子会社であった株式を金融資産に計上したこと等により非流動資産その他の金融資産が253,644千円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、631,563千円となり、前連結会計年度末に対して40,471千円減少しました。これは、主にその他の流動負債が14,184千円増加しましたが、営業債務及びその他の債務が62,587千円減少、未払法人所得税が18,941千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計につきましては、1,650,854千円となり、前連結会計年度末に対して149,232千円増加しました。これは、主に支配喪失による連結範囲変更に伴い非支配持分が31,765千円減少しましたが、親会社の所有者に帰属する四半期利益を180,864千円計上したことにより利益剰余金が増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、765,064千円となり、前連結会計年度末に対して62,330千円減少しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は99,652千円(前年同四半期比27.0%減)となりました。これは、主に税引前四半期利益275,143千円、減価償却費及び償却費31,831千円の計上等がありましたが、関連会社の株式一部売却等による持分法で会計処理されている投資利益128,727千円の計上、営業債権及びその他の債権26,540千円の増加、営業債務及びその他の債務38,783千円の減少、法人所得税の支払額が90,968千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は83,373千円(前年同四半期は36,121千円の獲得)となりました。これは、主にその他の金融資産の償還による収入が50,000千円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が34,531千円、その他の金融資産の取得による支出が90,000千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は2,091千円(前年同四半期比96.6%減)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が8,973千円ありましたが、新株予約権行使による株式の発行が6,935千円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の通期の連結業績予想につきましては、2018年5月15日発表の業績修正から修正しております。詳細につきましては、本日(2018年2月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	827,394	765,064
営業債権及びその他の債権	219,490	212,221
棚卸資産	1,241	893
その他の金融資産	—	50,000
その他の流動資産	43,614	43,396
流動資産合計	1,091,740	1,071,576
非流動資産		
有形固定資産	68,085	98,653
のれん	434,023	434,023
無形資産	79,382	51,762
持分法で会計処理されている投資	102,677	—
その他の金融資産	268,312	521,956
繰延税金資産	95,399	100,481
その他の非流動資産	34,034	3,963
非流動資産合計	1,081,915	1,210,840
資産合計	2,173,656	2,282,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	239,336	176,748
借入金	11,964	5,776
その他の金融負債	43,343	57,529
未払法人所得税	65,682	46,740
その他の流動負債	141,033	155,218
流動負債合計	501,360	442,013
非流動負債		
借入金	7,142	4,357
その他の金融負債	76,667	77,210
退職給付に係る負債	53,108	59,663
引当金	23,002	37,014
繰延税金負債	10,754	11,304
非流動負債合計	170,674	189,549
負債合計	672,034	631,563
資本		
資本金	426,465	429,932
資本剰余金	377,807	381,950
利益剰余金	648,173	829,038
自己株式	△270	△323
その他の資本の構成要素	3,620	△3,804
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,455,796	1,636,794
非支配持分	45,825	14,060
資本合計	1,501,621	1,650,854
負債及び資本合計	2,173,656	2,282,417

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上収益	1,130,627	1,727,510
売上原価	△298,035	△475,508
売上総利益	832,591	1,252,001
販売費及び一般管理費	△731,059	△1,089,035
その他の収益	190	1,289
その他の費用	△3,971	△64
営業利益	97,750	164,191
持分法による投資損失	△18,986	△17,405
持分法で会計処理されている投資利益	—	128,727
金融収益	143	506
金融費用	△708	△876
税引前四半期利益	78,199	275,143
法人所得税費用	△41,715	△86,836
四半期利益	36,483	188,306
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	38,045	180,864
非支配持分	△1,561	7,441
四半期利益	36,483	188,306
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	7.25	32.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	6.66	31.75

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期利益	36,483	188,306
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融資産	△24,452	△6,748
純損益に振り替えられることのない項目		
合計	△24,452	△6,748
税引後その他の包括利益	△24,452	△6,748
四半期包括利益	12,031	181,557
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,593	174,115
非支配持分	△1,561	7,441
四半期包括利益	12,031	181,557

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2017年4月1日時点の残高	426,075	377,089	533,442	△191	102,924	1,439,340	47,540	1,486,880
四半期利益			38,045			38,045	△1,561	36,483
その他の包括利益					△24,452	△24,452		△24,452
四半期包括利益合計	—	—	38,045	—	△24,452	13,593	△1,561	12,031
株式の発行	360	626			△266	720		720
企業結合による変動						—	5,931	5,931
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			74,413		△74,413	—		—
所有者との取引額合計	360	626	74,413	—	△74,680	720	5,931	6,651
2017年12月31日時点の残高	426,435	377,716	645,901	△191	3,791	1,453,653	51,909	1,505,563

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2018年4月1日時点の残高	426,465	377,807	648,173	△270	3,620	1,455,796	45,825	1,501,621
四半期利益			180,864			180,864	7,441	188,306
その他の包括利益					△6,748	△6,748		△6,748
四半期包括利益合計	—	—	180,864	—	△6,748	174,115	7,441	181,557
株式の発行	3,467	4,142			△675	6,935		6,935
自己株式の取得				△53		△53		△53
連結範囲の変更							△39,206	△39,206
所有者との取引額合計	3,467	4,142	—	△53	△675	6,881	△39,206	△32,324
2018年12月31日時点の残高	429,932	381,950	829,038	△323	△3,804	1,636,794	14,060	1,650,854

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	78,199	275,143
減価償却費及び償却費	41,121	31,831
減損損失	3,971	13,442
金融収益	△143	△506
金融費用	708	876
持分法による投資損益(△は益)	18,986	17,405
持分法で会計処理されている投資利益	—	△128,727
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△5,111	△26,540
棚卸資産の増減額(△は増加)	280	347
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	12,239	△38,783
その他	22,442	45,704
小計	172,693	190,193
利息及び配当金の受取額	7	506
利息の支払額	△127	△78
法人所得税の支払額	△36,035	△90,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,537	99,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,024	△34,531
無形資産の取得による支出	△11,628	△9,472
その他の金融資産の売却、償還による収入	190,000	50,000
その他の金融資産の取得による支出	△100,000	△90,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	△42,066	—
その他	840	629
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,121	△83,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△62,346	△8,973
リース債務の返済による支出	△421	—
株式の発行による収入	720	6,935
自己株式の取得による支出	—	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,048	△2,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,611	14,187
現金及び現金同等物の期首残高	850,792	827,394
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の減 少額	—	△76,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	961,403	765,064

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事項)

該当事項はありません。